



# 平成29年度 学校経営の方針

いわき市立磐崎中学校

## 1 教育目標

「心豊かで、たくましく、創造性に富む生徒」

〈重点目標〉

- 進んで学習に取り組む生徒 (知)
- 奉仕と協力ができる生徒 (徳)
- 体力と気力のある生徒 (体)

教育活動全体を通して、「命」「授業」「学び」「人間」を大切にする生徒の育成をめざす教育課程を編成する。

## 2 学校経営の方針

教育の究極の目標は、子どもを自立させること ⇨ 社会に貢献できる人材の育成

そのためには

☆ 信頼関係が教育の基盤 ⇨ 信頼がなければ指導は浸透しない。

生徒、保護者（地域）、教職員三者の信頼関係があって教育は成り立つ。

- ① 誠実に教師としての職責を果たし、地域の教育に対する負託に応える。(学校評価の実施)
- ② 教職員の指導力・モラルの向上を図る。
- ③ 事故の絶無を期する。(学校管理下の事故、信用失墜行為など)

☆ 地域の学校としての責任 ⇨ 磐崎中学校の実践（やるべきこと）

学校は、地域の教育・文化のみならず、地域の共同体としての責任を果たす。

- ① 学校教育活動の発信・説明を定期的に行う。 } 学校だより・ホームページ
- ② 地域への教育・文化情報の発信を適宜行う。 } 授業参観・PTA総会等
- ③ 学校と地域、相互の教育力の連携を図る。 小中連携・中高連携・公民館等

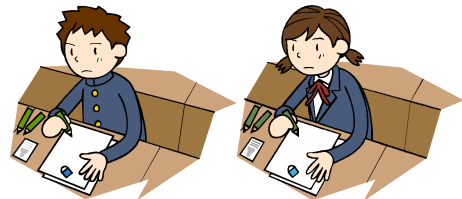


〈重点目標〉

(1) 「授業」「学び」を大切にする → 学力の向上 → 授業スタンダードの推進

学力向上は、生徒、保護者と教師、三者の願い。

- ① 一人一人の生徒に分かる授業を展開する。
- ② 定着を図るための学習習慣を身に付けさせる。
- ③ 個に応じた、主体的に学習する態度を育てる。



(2) 「人間」を大切にする→人とのつながり（豊かな人間性・社会性の育成） → あいさつ

子どもは地域（社会）の宝であり、かけがえのない一人である。

- ① ふるさとを誇りに思い、地域の自然や温かな人間関係の中で健やかな人間性の成長を促す。
- ② 夢や希望を持ち、それに向かって努力しようとする態度を育てる。(自主・自立)
- ③ 体験活動や様々な交流活動を通して、自他のよさを認め合う態度を育てる。

(3) 「命」を大切にする→健康・体力の増進（生涯にわたる健康教育） → 楽しく運動する

心身ともに健康であることがすべての基盤

- ① 当たり前のことを当たり前にできるようにする。(基本的生活習慣の確立)
- ② 食や性教育を含めた健康教育を通して、生命を尊重する態度を育む。
- ③ 教育活動全体を通して、運動に親しむ態度を育む。(成長期の運動の重要性)

